2023年1月15日

第1回
全日本極真空手道選手権大会

早田 信代表
全日本極真空手道選手権大会 出場
シニアの部 重量級 優勝

大会リポート

この大会は、大山倍達総裁没後、細々分裂した極真が再集結し行われた初めての統合統一全日本大会。

参加人数の多さに加え、選手レベルの高さもあり、大変厳しいトーナメントだった。

極真会館 熊本県 早田道場からは、早田 信代表と内柴 宏嗣 副代表が出場。

内柴副代表は、体重差２０キロ以上の選手と激闘。極真らしい正面からの打ち合いを行った。

早田代表は、シニアの部重量級（７０ｋｇ以上の部）に出場。

体重の上限なしの階級は、体格に勝る相手ばかり、身長差１０ｃｍ以上、体重差２０ｋｇ近くなど、攻撃力や勢いだけでなく、体格差によるプレッシャーもある。

決勝の相手は昨年の５０歳代全日本王者。早田代表は体重差２０ｋｇの相手に真っ向勝負、相手選手の体重をいかした重く威力のある攻撃を受けながらの激闘は引き分け、延長戦へ。

一進一退の延長戦だったが、後半では早田代表の気迫のこもった突きに相手選手の表情がゆがむ場面もあった。会場が沸いた激戦、この激戦を制し優勝の栄冠をつかんだのは早田代表。

極真会館 熊本県 早田道場 早田 信 代表が大山総裁没後初めて開催された統一統合全日本大会第一回オープントーナメント全日本極真空手選手権大会 シニアの部 重量級 初代王者となった。

早田代表の次の舞台は２０２３年４月８・９日に開催される世界大会。

世界大会での活躍も期待される。